

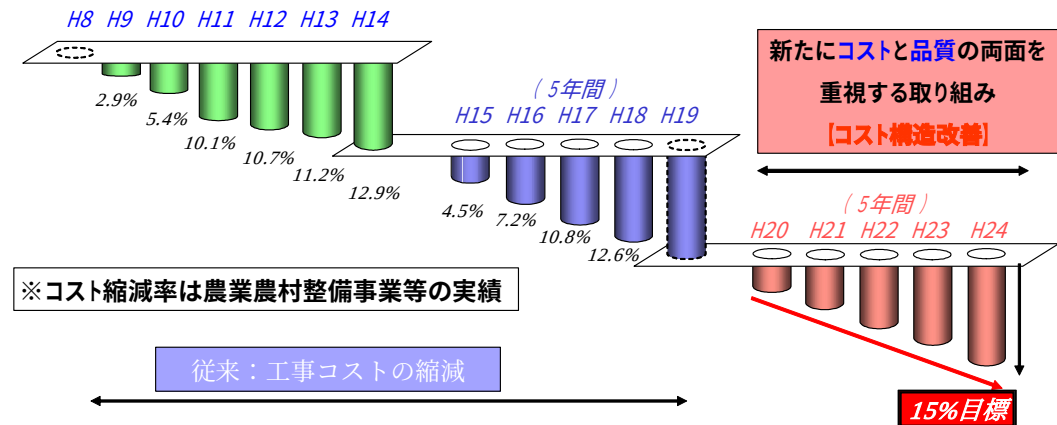
5. 農業農村整備事業等コスト構造改善プログラム

- 農業農村整備事業等の直轄事業においては、①効率性の向上、②資源・環境対策の推進、③計画・設計・施工・管理の最適化、④調達の最適化、⑤地域特性の重視、⑥透明性の向上の視点により、コストと品質の両面を重視する「農業農村整備事業等コスト構造改善プログラム」を策定し、総合的なコスト構造改善を推進。

総合コスト改善の数値目標

- H20～H24年度（5年間）でH19年度と比較して
15%の総合コスト改善率※を達成目標とする。

※総合コスト改善率とは、これまでの「総合的な工事コストの縮減」に加え、「ライフサイクルコスト構造の改善」、「社会的コスト構造の改善」を評価したコスト改善率



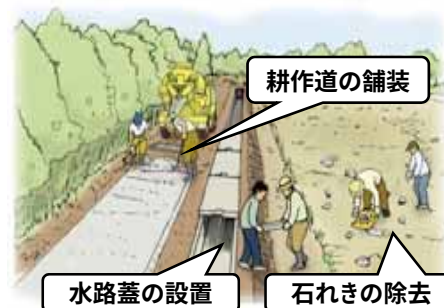
これまでのコスト縮減の具体的取り組み

- かんがい用水などの工事の設計や施工段階で、コスト縮減や工事期間の短縮等につながる**民間からの技術提案**を積極的に採用。
- コスト縮減につながる**新材料、新工法の導入**を促進。
- 農用地周辺の道路の舗装や用水路蓋の設置などの身近な施設等の整備には、**農家や地域住民の参加**で行う直営施工方式を積極的に採用。

直営施工の取組状況

- 実績：H18年度の実施地区数はH14年度に比べて約3倍に拡大
- 効果：住民参加による**地域の活性化**や、創意工夫による**工事コスト縮減、農家負担の縮減**

【直営施工のイメージ】



【直営施工の実績（地区数）】

	H14	H18
環境整備	26	105
区画整理	7	12
道路工	8	11
水路工等	8	32
計	49	160